

まずは地に足を着け、町を知りたい。 地域おこし協力隊・滝口知弘さん

下川でのリアルな暮らしぶりを町内の方にお話ししていただくコーナー。
今月は、下川ハイヤーで地域おこし協力隊として働く滝口知弘さんです。



友達が旭川に住んでいたのがきっかけで、20代の頃から北海道には何度も遊びに来ていました。もともと宮城県仙台市に住んでいましたが、夏がとて暑く、もう少し涼しいところで暮らしたいと思うようになり、以前から憧れていた北海道への移住を本格的に検討し始めました。下川町を知ったのは、一昨年に仙台市内で開催されていた北海道移住フェアに参加した時です。その後の去年の秋に、実際に足を運んでスーパーや郵

便局、銀行などがぎゅっと一ヶ所にまとまっていて暮らしやすそうだなという印象を受けました。同じタイミングで「タノシモカフェ」にも参加して住みやすそうだなと思い、2026年5月に引っ越してきました。現在は、もともとトラックを運転する仕事をしていたこともあり、立場としては地域おこし協力隊ですがフルタイムで下川ハイヤーで働いています。佐川急便のお荷物を配達・集荷するほか、町の一部のお店で住民の方が購入した商品をご自宅へ届けたり、電話で注文した商品を配達したりしています。この仕事を選んだ理由は、地域の人たちや地理を知りたかったからでもあるんです。町内の誰かに会っては僕が「人生で初めて会った宮城の人」になるかもしれない。宮城の人は良い人」と感じてもらえたら、後から移住する人も暮らしやすと思うんです。僕自身も、もっと地域に馴染んで顔と名前を覚えてもらえたらと思っています。



写真撮ったりしています。今は週1回で、名寄市まで片道1時間かけて自転車です。スキージャンプ台をかつよく撮れる場所を探しています。地域おこし協力隊という立場だから「何か新しいことをやらなければ」と思い込んでいるところがありました。でも生活リズムもできてきた今は、この日常を楽しもうと思っています。地域の方々と仲良くなることを優先したいですね。

しもかわ財団の活動紹介

「つなぎ・ささえ・つくる」

うどん祭りにぎわい市に出展しました

しもかわ財団の取組やイベント情報等について、これまで広報紙やスマホ役場等で紹介してきましたが、よりみなさんに馴染みのあるしもかわ財団を目指すため、9月12日・13日に開催された「うどん祭りにぎわい市」に、しもかわ財団の取組を紹介するブースを出展しました。

ムまで入力することで分布図として見る事ができる仕様となっており、最後まで楽しめるアプリです。次のQRコードをスマホで読み取ると診断することができ、興味のある方は是非お試しください。



下川27タイプ診断
QRコード



■お問い合わせ

総務企画課 企画調整係 ☎ 4-2511 内線227

しもかわ地域振興機構（通称…しもかわ財団） ☎ 4-3511